

4. 環境放射能に関する Q&A

QA17 昔の核実験でできた放射性物質が今も残っているというのは本当ですか。

昔の核実験による放射性物質は、僅かですが残っています。

1945年から1980年にかけて大気圏内で行われたウランやプルトニウムの核実験により、多くの人工放射性核種が生成されましたが、その中でも生成量が多く、半減期が30年長いため、ストロンチウム90やセシウム137は現在でも残っています。

大気圏内核実験は1980年に終わりましたが、1986年のチェルノブイリ原発事故で一時的にセシウム137の濃度が高くなりました。しかし、その値はすぐに元の水準に戻りました。

[統一的な基礎資料の関連項目](#)

上巻 第2章 71 ページ「大気圏核実験による放射性降下物の影響」

出典：日本の環境放射能と放射線ウェブサイト Q&A より作成

出典の公開日：平成17年10月24日

本資料への収録日：平成24年12月26日